



2018年6月 南アフリカ新聞第11号

SABONA

鈴木 壮太

さいきん じてんしゃ こわ
最近、自転車が壊れました。ショックを隠しきれません。学校までは歩くと小一時間かかるので、早く何とかしたいところです。日本のしょうひん しつ 商品の質の高さを多くの場面で実感します。

さて、今回は、アフリカの生活でよく見られる光景を紹介します。

アフリカあるある



乗っているバスがバス停に止まると、人たちが窓の外に急に群がり始め、果物や野菜、飲み物などを売りに来る。買わないと残念そうな表情で戻ってゆく。ピーナッツを買って、バスでのおやつにするのがおすすめ。



バスでなくても、車が止まると、勢い良く人がやって来る。品物を顔の近くまで持ってきてもう猛アピールしてくる場合がある。手で何度か退けても、また顔の近くまで持ってくる。買わない。



歩いているとよく、知らない子どもたちに「チャイナ!チャイナ!」「チョンチュンチョン!」と、からかわれる。いらっとしないで優しく微笑んであげよう。



モノトーンコーデにカラフルなバッグ。これぞおしゃれマスターという言葉が似合いそう。左手に持っているオレンジにも注目だ!



子どものお弁当が非常にシンプル。



見た目はいいけど、買っ
てすぐ壊れた。(涙目)



随分と鮮やかな服装で出勤。
周りの先生も大喜び!



子どもたちが、色々と手伝ってくれる。しかしその後、「手伝ったからお小遣いちょうだい。」と言ってくる場合あり。その場合はキャンディーをあげよう。

以上で、アフリカあるあるを終わります。まだまだたくさんあるので、また紹介します。